

みどりかがやく

実りの秋1

校地内にドングリの実を見つけられる季節になりました。まわりの森から届けられるようです。小さい頃はかくと殻斗（帽子のようなもの）のついているものを見つけると嬉しかったことを思い出します。今、本校には、殻斗つきのドングリがたくさんあります。小さい頃、ドングリをたくさん集めることに夢中になった方もいらっしゃるのではないかと思います。

本校で見られるドングリはコナラとクヌギで、コナラは、成長も早くシイタケのホダ木として使われ、一般的なドングリの実の形をしています。また、クヌギは、食することもできるため「食乃木」がクヌギとなったとする説や、葉や実が栗に似ていることから、「栗似木」がクヌギになったという説があります。いずれも、野生の生き物たちの大切な栄養源です。本校のまわりにはハクビシンなどの生物が生息しており、時々その姿を目にすることがあります。夜、森の中を歩けば、他の動物たちに会えるかもしれません。

9月には、3年生の校外学習と命の授業がありました。3年生の校外学習は災害時に炊き出しができるよう飯盒炊爨を行う技術を習得するとともに、これから立ち向かう進路実現において、友だちと一緒に頑張れる人間関係の醸成を目的としています。命の授業は、7人の赤ちゃんゲストとお母さんに学校に来ていただき、赤ちゃんと触れ合うことで、命の大切さと自分を育ててくれている保護者の方への感謝の気持ちを学ぶものです。また、全校生徒を対象に、地域の方に講師をしていただいた山桜祭もありました。これは、日頃行うことのできない技能や知識を学び、視野を広げるとともに、ご指導いただいた地域の方への感謝の気持ちをもつことを目的としています。そして、2年生が中心となり、1年生も試合や応援で力を発揮した新人体育大会川越市予選会もありました。運動部の大会では、日頃から練習してきた技術や培ったチームワークなどを披露し、他校と競う中で、客観的に自分を見つめ、更なる技術や精神力の向上を目指すためのものと考えています。全ての教育活動には、それぞれの目的があります。生徒たちは多くの経験を経て、着実にいろいろな力を身に付けています。

実りの秋を向かえています。生徒一人一人は、心のうちに知識や技術のドングリを溜め込んでいることと思います。さらにたくさんのドングリを心に集めて、3年生は来たるべき進路実現に向けて備えてほしいと思います。そして、1・2年生はこれからしばらく時間が空いてしまう部活動の公式大会や来年・再来年に立ち向かうであろう進路実現に向けて、地道に準備をしていってほしいと願っています。



殻斗つきのドングリ

左側6個 コナラ、右側2個 クヌギ